

海拔プレート・緊急ラジオ

防災へ岡山市検討

岡山市は16日、市内各地の標高を表示するプレート^①の設置や、災害時に自動的にスイッチが入るFMラジオ^②の配備を検討していることを明らかにした。費用や設置箇所を吟味し、年度内に方針を決定する。

市内の国道2号以南はおおむね標高1メートル以下で、児島湖周辺では0メートル以下の土地も多い。この地域を中心



に「海拔表示プレート」^①の写真は試作品^②を電柱などに設置し、避難の目安にしよう。

災害情報の伝達手段も強

化する。避難勧告などの際、自動的に電源が入って緊急情報を割り込み放送する「緊急告知FMラジオ」を学校などに導入することを目指している。防災行政無線のスピーカーも、市南部を中心に増設することを検討している。

地域防災計画の見直しに向け、有識者らを招いて設置した「市防災会議専門調査会」の第1回会議で市側が報告した。会長に就いた室崎益輝・関西学院大教授（都市防災）は「複数の情報伝達手段をしっかりと確保するのが大事」と述べた。

さとう人海の個人質問の提案内容です。

